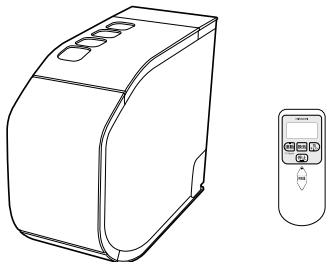


取扱説明書

HITACHI

保証書付(裏表紙についています)・据付説明書別添付

家庭用 日立ルームエアコン 換気ユニット



型式

エス ビー ビーパイ エ
SP-PVN1

リモコン アルエーアール ビーエー
RAR-BA1

エス ビー ビーパイ エ
SP-PVN2

リモコン アルエーアール ビーエー
RAR-BA1

この換気ユニットは室内の空気を排気するものです。
屋外の空気を取り込む給気運転はできません。
また、日立ルームエアコンと組み合わせて使用するものです。
単独での使用及び他社エアコンと組み合わせての使用はできません。
本取扱説明書に記載のエアコンの図はイメージです。
実際と多少異なる場合があります。

【⇒P. 〇】のあとの数字は主な説明のあるページです

このたびは、換気ユニットをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、据付説明書とともに大切に保管してください。

「安全上のご注意」【⇒P.2、3】をお読みいただき、正しくお使いください。

この換気ユニットは、一般家庭の人を対象とした換気を目的とするものです。
食品・動植物・精密機器・美術品・医薬品などの保存には使用しないでください。

日本国内家庭用
Use only in Japan.

もくじ

ご使用の前に

■安全上のご注意 (必ずお守りください)	2,3
■各部のなまえ	4
■リモコンの準備	5
■運転前の準備	5

使いかた

■運転・停止のしかた	6,7
■運転・機能の詳細	8,9

お手入れ

■お手入れ	9~11
お手入れできる部品	9
お手入れするときは・お手入れが終わったら	9
フロントパネル	10
フィルター	10,11
長期間ご使用にならないときは	11
定期点検	11

お困りのときは

■お困りのときは	11,12
ランプ表示	11
音	11
運転	11,12
リモコン	12
ニオイ	12
その他	12
■こんなときはすぐ販売店へ	12

保証とアフターサービス

■保証とアフターサービス (必ずお読みください)	13
■お客様ご相談窓口	14
■長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示	15
■仕様	15

付属品

リモコン



1個

モニター用
単4形乾電池



2本

リモコン取付ねじ



1本

- 乾電池の入れかたは【⇒P.5】
- リモコン取付ねじの使いかたは【⇒P.5】

安全上のご注意

必ずお守りください



お使いになる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことをつぎのように説明しています

また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください

ここに示した注記事項は

表示と内容を無視して、誤った使いかたをしていたときに生じる危害や損害の程度を、つぎの表示で区分し、説明しています。

危害や損害とその程度と区分

 警告	 注意
「死亡または重傷を負うおそれがある」内容	「軽傷を負う、または物的損害を生じるおそれがある」内容




絵表示

	禁止		指示を守る
	分解禁止		アース線接続
	水ぬれ禁止		ぬれ手禁止
			電源プラグを抜く

お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください

据え付け・移設・修理

警告

-  ●お客様自身で据付工事・移設はしない
火災・感電・けが・水漏れ・故障の原因になります。お買い上げの販売店または、専門業者に依頼する。
禁止
-  ●お客様自身で分解・改造・修理をしない
火災・感電・けが・水漏れ・故障の原因になります。修理は、お買い上げの販売店または、日立のお客様ご相談窓口へ依頼する。
分解禁止
-  ●電源は、必ずエアコン専用回路のコンセントを使用する
専用回路以外のコンセントを使用すると発熱し、火災の原因になります。
- 据え付け・移設は、お買い上げの販売店または、専門業者に依頼する
お客様自身で据付工事・移設をされ、不備があると、水漏れや感電・火災の原因になります。
- 修理は、お買い上げの販売店または、日立のお客様ご相談窓口へ依頼する
お客様自身で修理をされ、不備があると、感電や火災の原因になります。
- 漏電遮断器を取り付ける
漏電遮断器が取り付けられていないと、感電や火災の原因になります。

据え付け・移設・修理(つづき)

警告



アース線
接続

- アース(接地)を確実に行う
- アース工事は、販売店または、専門業者に依頼する
アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線などに接続しないでください。
アース(接地)が不確実な場合は、故障や漏電のときに感電や火災の原因になります。

注意



禁止

- 動植物に直接風が当たる場所には設置しない
動植物に悪影響を及ぼす原因になることがあります。



必ず実施

- 排気ホースは、確実に室外へ排気するよう取り付け
不確実な場合は、屋内に排気した空気が侵入し、臭異などの原因となる場合があります。

電源コード・電源プラグ・コンセント

警告



電源プラグ
を抜く

- 異常時(焦げ臭いなど)は、直ちに運転を停止し、エアコンの電源プラグを抜くか、ブレーカーを切る
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店または、お客様ご相談窓口にて点検・修理を依頼してください。

お取り扱い・お手入れ

警告



禁止

- 排気口・吸い込み口は、ふさがらない
- 排気口・吸い込み口に、指や棒などを入れない
内部でファンが高速回転していますので、けがや故障の原因になります。また、性能が低下します。
- お客様自身で換気ユニットの洗浄をしない
水漏れ・感電などの原因にもなります。
- 殺虫剤・可燃性スプレー・消臭剤・抗菌剤などを吹きかけない
火災・変形の原因になることがあります。
- 乳幼児の手の届く所にリモコンを置かない
誤操作や、乾電池を取り出し、誤って飲み込んでしまう原因になります。
飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
- エアコンの電源プラグを抜いて、停止しない
感電や火災の原因になります。

お取り扱い・お手入れ(つづき)

注意



水ぬれ禁止

- 換気ユニットを水洗いしない
- 花瓶など、水の入った容器を載せない
漏電により、感電・発火の原因になります。



ぬれ手禁止

- ぬれた手でスイッチを操作しない
- ぬれた手でエアコンの電源プラグを抜き差ししない
感電の原因になります。



禁止

- エアコンの電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かない
コードの内部が断線して、発熱・発火の原因になることがあります。
- 換気ユニットの上に物を載せない
- 換気ユニットにぶら下がらない
- 不安定な台に乗って、換気ユニットの操作やお手入れをしない
落下・転倒などによる、けがの原因になります。
- 燃焼器具と一緒に運転するとき、窓開け換気も併用する
換気が不十分な場合は、酸素不足の原因になることがあります。
- 動植物に直接排気の風を当てない
動植物に悪影響を及ぼす原因になることがあります。
- この換気ユニットは一般家庭の人を対象とした換気を目的とするものですので、電子機器や精密機械の維持、食品・毛皮・美術骨董品の保存、イヌ・ネコなどのペットの管理、生物の培養・栽培・飼育等特殊用途には使用しない
これらの品質低下の原因、生物の正常な生育の障害等の原因や換気ユニットの機能・性能の低下および故障の原因になることがあります。
- 屋内でも、人が生活する空間以外(天井裏、小屋裏、壁内、床下など)では使用しない
換気ユニットの機能・性能低下および故障の原因になることがあります。
- 換気ユニットの下に他の電気製品や家財などを置かない
- 吸い込み口に髪やひもなどを近づけすぎない
ファンが回転する際に、巻き込まれ、けがをするおそれがあります。



必ず実施

- お手入れをするときは、手袋を着用する
けがをする原因になります。
- お手入れをするときは、必ず運転を停止し、エアコンの電源プラグを抜くか、ブレーカーを切る
内部でファンが高速回転していますので、けがや故障の原因になります。
- フロントパネル・吸い込み口に洗濯物などを掛けない
フロントパネルが落下し、けがの原因になります。

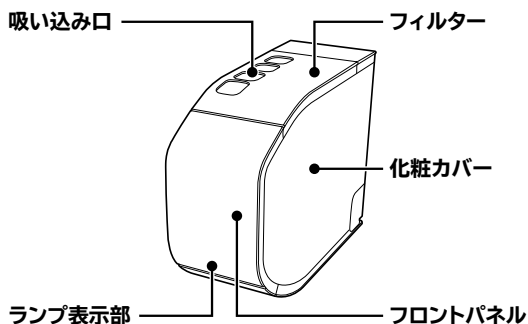


電源プラグ
を抜く

- 落雷のおそれがあるときは、運転を停止し、エアコンの電源プラグを抜くか、ブレーカーを切る
落雷の程度によっては、故障の原因になります。
- 長期間使用しない場合は、安全のためエアコンの電源プラグをコンセントから抜く
ホコリがたまって、発熱・火災の原因になることがあります。

各部のなまえ

換気ユニット本体



換気ユニットランプ表示

ランプの点灯・点滅で運転状態などを、お知らせします

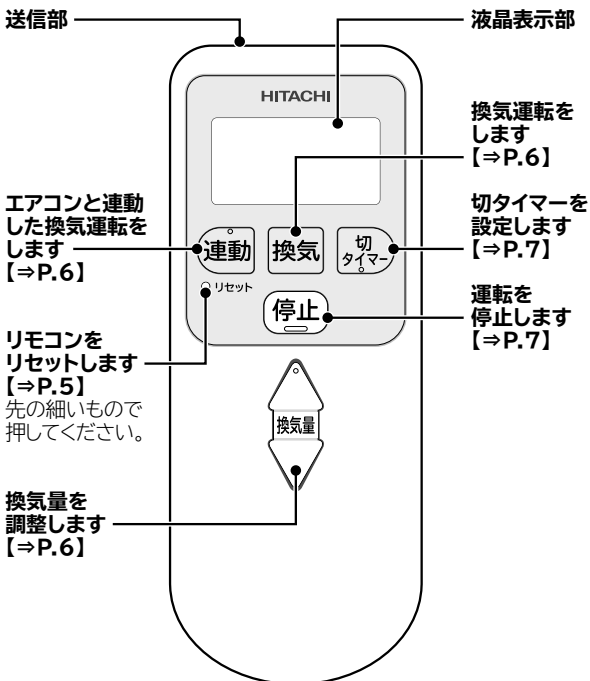
連動 **運転** **タイマー**
黄色 黄色 橙色

ランプの表示は各運転・機能のページをご確認ください
運転・停止のしかた【⇒P.6】

ランプの点滅でお困りのときは

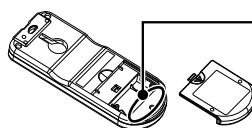
ランプの点滅表示は【⇒P.11】

リモコン



リモコン(つづき)

リモコン型式

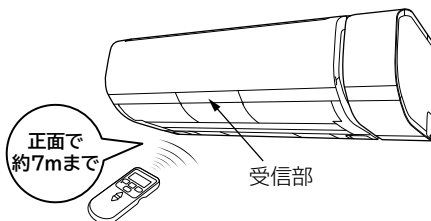


リモコン型式【⇒P.表紙】
リモコンの型式は電池ケースふたを外すと確認できます。

送信部

室内機の受信部に向けて操作してください
換気ユニットには受信部がありません

- 室内機が受信すると、受信音が鳴ります。電源を入れた直後の約10秒間は、操作しても室内機は「ピー」と鳴り、受信しません。
- 受信できる距離は、正面で約7mまでです。室内に電子点灯形の照明器具がある場合は、受信距離が短くなったり、受信できなくなることがあります。このようなときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 受信しないときはリモコンを点検してください。【⇒P.12】



液晶表示部

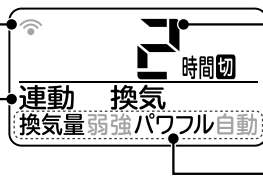
運転内容や機能の設定内容を表示します

- 節電のため、停止状態で約3分間操作しないと液晶が消灯します。連動設定中は消灯しません。
- ボタンを押すと、表示します。運転ボタンを押した場合は液晶を表示して運転を開始します。
- 液晶が消灯している状態では一部の機能は操作が無効になります。その場合は、ボタンを押して再表示してから操作してください。

送信マーク
送信したときに点灯します

運転中の表示

エアコンと連動運転しているときに表示します



切タイマーの設定時間を表示します

設定している換気量を表示します

アドレス切り換え


換気ユニットと接続した室内機のリモコンのアドレス切り換えを行った場合は、換気ユニット用リモコンのアドレス切り換えも必要です

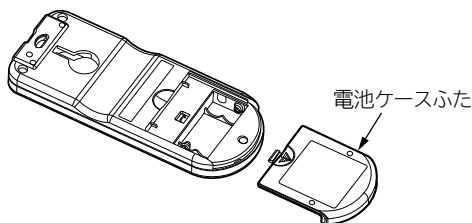
お買い上げの販売店にお問い合わせください

リモコンの準備

リモコンに乾電池を入れる




電池ケースふたを外します

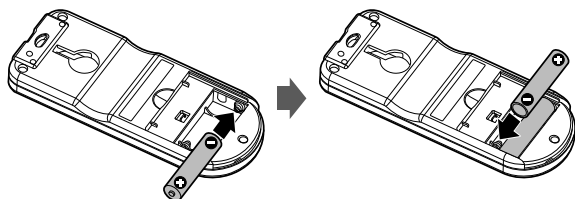
 マークを押しながら手前に引き抜きます。



単4形マンガン乾電池 (R03タイプ) 2本を入れてください

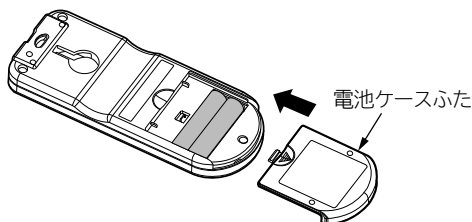
アルカリ乾電池 (LR03タイプ) も使用できます。

-   を電池ケースの表示に合わせて、正しく入れてください。
-  側から先にバネを縮ませながら入れます。



電池ケースふたを閉じます

- 「カチッ」と音がするまで押し込みます。



ボールペンなど先の細いもので

リセットボタンを押してください【⇒P.4】

乾電池の取り扱いかた

- 乾電池を誤って使用すると液漏れ・破裂の危険があります。乾電池の注意文をよく読み、特につぎの点に注意してご使用ください。
 - (1) 新旧・種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
 - (2) 充電式の乾電池 (ニッケル水素など) は使用しないでください。(サイズ・形・性能が一部異なるため)
 - (3) 長期間 (1ヶ月以上) 使用しないときは、乾電池を取り出してください。万一、液漏れしたときはよくふき取ってから新しい乾電池に2本共交換してください。
- 乾電池の寿命は約1年です。使用推奨期限に近いもの・付属品のモニター用乾電池は寿命が短くなります。

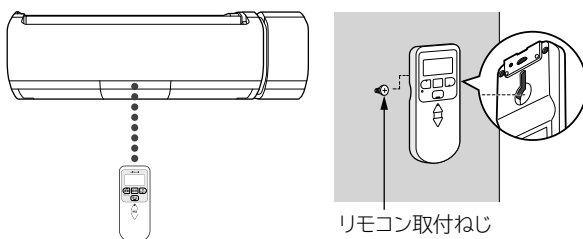
乾電池の取り扱いかた (つづき)

- 使用済み乾電池はリサイクル対象外です。有害ゴミではありませんので、電極にセロファンテープを貼り (ショートすると危険なため) 燃えないゴミとして処分してください。
※市町村で決められた回収方法に従ってください。
- 乾電池から漏れた液が目に入ったときは、こすらずに、すぐに水道水などの多量のきれいな水で十分に洗い、医師の治療を受けてください。失明など障害の原因になります。
- 乾電池を充電・分解したり、火の中に投入しないでください。液漏れ・破裂・発火の原因になることがあります。

リモコン取付ねじの使いかた

- リモコンは、付属のリモコン取付ねじで柱や壁に取り付けることができます。
- 「換気ユニット」の「運転」と「停止」ができる位置を確認してからしっかりと柱や壁に取り付けてください。

リモコンの取り付けかた



ご注意

- 吹き抜けなどにより、室内機上部の天井が高い場合やリモコンの取付場所によっては、取り付けただけで「運転」や「停止」ができないことがあります。

運転前の準備

エアコンの電源プラグをコンセントに差し込む



運転・停止のしかた

運転する

リモコンを室内機に向けて、お好みのボタンを押してください

- 運転を開始します。

室内機の受信音：「ピッ」

手動換気運転をする

換気 を押す

- 運転の詳細は【⇒P.8】

換気
換気量弱

運転を開始すると



エアコンと連動した換気運転をする(連動運転)

エアコン運転中に

連動 を押す

- エアコン停止中に連動ボタンを押すと、室内機の受信音はしますが、連動運転はしません。エアコンを運転すると連動運転を開始します。

- 運転の詳細は【⇒P.8、9】

連動
換気量 自動

運転を開始すると



連動運転を取り消したいときは

換気 を押す

- 連動が取り消され手動換気運転を行います。
- 運転の詳細は【⇒P.8】



切タイマー を押す

- 連動が取り消され切タイマー運転を行います。
- 運転の詳細は【⇒P.7】



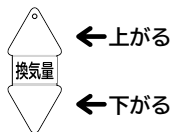
停止 を押す

- 連動が取り消され運転を停止します。



換気量の設定

リモコンを室内機に向けて

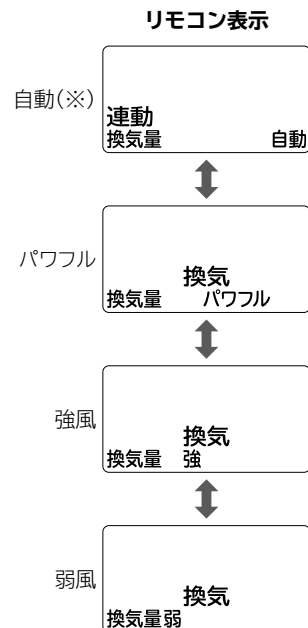


室内機の受信音：「ピッ」

- 押すごとに、換気量が変わります。

※連動運転中のみ換気量「自動」を設定できます。

換気量自動のときは人の活動量やお部屋の温度などに応じて換気量をコントロールします。



- 換気量「パワフル」は換気量を優先するため、運転音が大きくなります。運転音が気になるときは「強風」または「弱風」に変更してください。

切タイマー

設定した時間後に運転を停止します

設定／取り消しかた

リモコンを室内機に向けて

切タイマー を押すごとに

停止するまでの時間が切り換わります

押すごとに、室内機の受信音：「ピッ」

- お好みの時間を設定してください。最大で9時間まで設定できます。
- 押し続けると、早送りします。
- 設定した時間は記憶されます。
- 設定時間は、停止するまでの時間です。
- 時間の経過に伴い、設定時間表示は変化します。

リモコン表示

0.5時間切

↓
1時間切

↓
2時間切

↓
1時間ごと

↓
9時間切

↓
取り消し

9時間設定のつぎが取り消しです

室内機の受信音：「ピピッ」

時間表示が消えます

切タイマーを設定すると

連動 運転 タイマー
点灯 点灯

切タイマーを取り消すと

連動 運転 タイマー
点灯 消灯

知っておいていただきたいこと

停止中に設定すると

- リモコンに表示されている(記憶されている)手動換気運転で運転を開始します。

設定中に[停止]ボタンを押すと

- 切タイマーを取り消して、運転を停止します。

エアコン運転中に設定時間になると

- 換気ユニットは停止しますが、エアコンは停止しません。

停止する

リモコンを室内機に向けて **停止** を押す

室内機の受信音：「ピー」

- 手動換気運転、連動換気運転、切タイマー運転を停止しすべてのランプ表示が消灯します。

連動 運転 タイマー
消灯 消灯 消灯

運転・機能の詳細

運転全般

運転のしかたは【⇒P.6】

使用温度範囲：室温 43℃未満 外気温 -10℃以上
室温43℃以上や外気温-10℃未満のときは、製品保護のため運転しないことがあります。

運転音が気になるときは

換気量「パワフル」は換気量を優先するため、運転音が大きくなります。運転音が気になるときは「強風」または「弱風」に変更してください。

知っておいていただきたいこと

- 換気運転はお部屋の空気を室外へ排出する機能です。屋外の空気を室内へ取り込む給気運転はできません。
- 室温が38℃以上のとき、製品保護のためパワフル運転の換気量が少なくなることがあります
- 2週間以上連続運転すると製品保護のため自動で運転を停止します
連動運転中は自動で停止しません。

連動運転

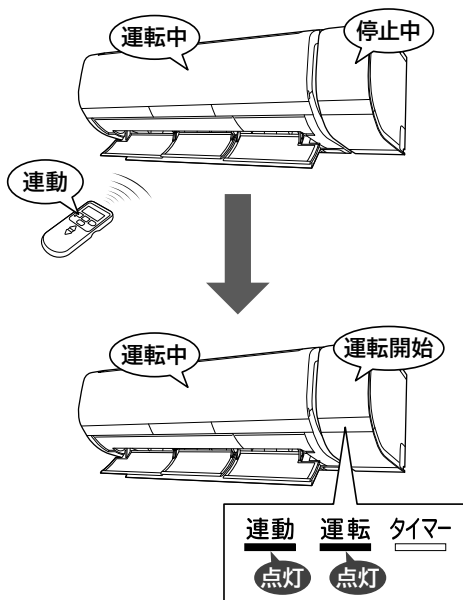
運転のしかたは【⇒P.6】

エアコンと連動して換気ユニットが動作します

エアコンのタイマー機能やスマートフォンでエアコンを操作したときも連動します。

【エアコン運転中の場合】

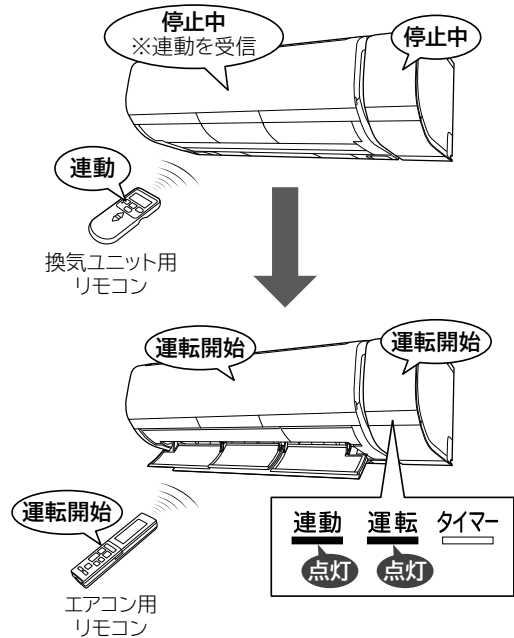
連動ボタンを押すと、受信音：「ピッ」が鳴り、エアコンと連動して換気ユニットが動作を開始します。



連動運転(つづき)

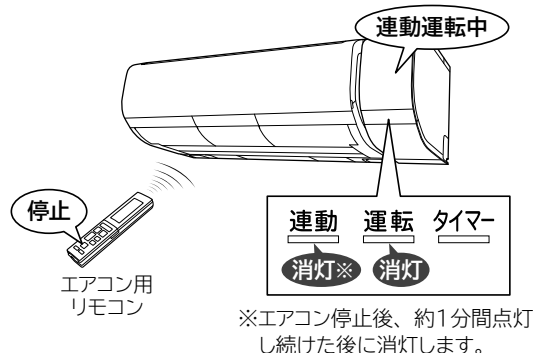
【エアコン停止中の場合】

連動ボタンを押すと、受信音：「ピッ」が鳴り、連動運転を受信しますが、換気ユニットは運転を開始しません。続けてエアコンのリモコンで運転を開始すると、連動運転を開始します。



**エアコン運転中は換気ユニットも運転します
エアコンを停止すると換気ユニットも停止します**

連動運転中にエアコンを停止した場合、運転ランプはすぐに消灯しますが連動ランプは約1分間点灯し続けた後に消灯します



※エアコン停止後、約1分間点灯し続けた後に消灯します。

お手入れ

連動運転(つづき)

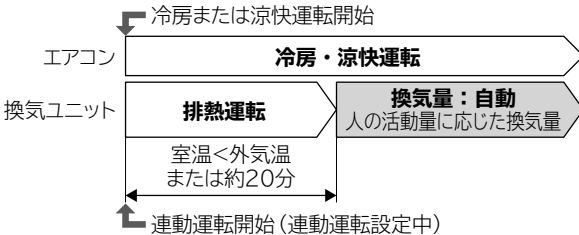
連動運転中のみ換気量：自動を選択できます

換気量：自動のときは、換気量を自動で調整します。
エアコンの風速設定によって換気量の調整幅が異なります。

連動運転(冷房・涼快中)

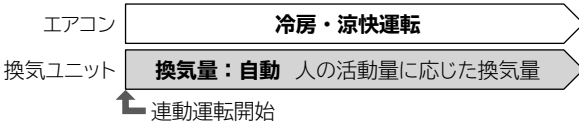
<エアコン停止状態から換気ユニットの連動運転を行う場合>

換気量：自動のとき、運転開始時に室温と外気温を比較し、室温が高い場合、お部屋の熱を排出するため、換気ユニットは強めの換気量で運転します。室温が外気温より低くなった場合または約20分経過以降は、センサーが人の活動量を検知し換気量を自動でコントロールします。活動量が多いと換気量が多くなり、少ないと換気量が少なくなります。



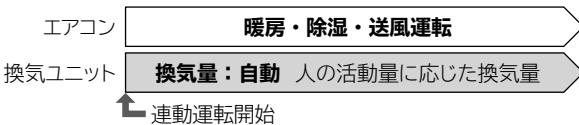
<エアコン運転中に換気ユニットの連動運転を行う場合>

換気量：自動のときセンサーが人の活動量を検知し、換気量を自動でコントロールします。活動量が多いと換気量が多くなり、少ないと換気量が少なくなります。



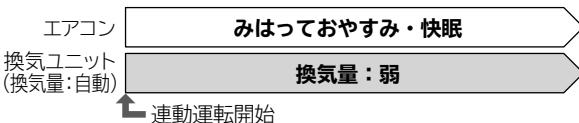
連動運転(暖房、除湿、送風中)

換気量：自動のとき、センサーが人の活動量を検知し、換気量を自動でコントロールします。活動量が多いと換気量が多くなり、少ないと換気量が少なくなります。



連動運転(みはっておやすみ、快眠中)

換気量：自動のときエアコンをみはっておやすみ、快眠に設定すると換気量：弱で運転します。



エアコンのみはっておやすみ、快眠運転に連動して、換気ユニットの表示ランプも減光します。



知っておいていただきたいこと

- 換気ユニットにはセンサーは搭載されておりません。活動量が変化しても、換気量はすぐに変化しません。多少の時間差があります。
- エアコンと連動せずに、お好みで換気運転されたい場合は手動換気運転を設定してください。



警告

お客様自身で換気ユニットの洗浄をしない

- 市販の洗剤などを使用すると、樹脂部品の割れ・内部部品の劣化に至ることがあり感電・発煙・発火などの原因にもなります。
- 殺虫剤・可燃性スプレー・消臭剤・抗菌剤などを吹き付けない
- 火災・変形の原因になることがあります。



注意

- お手入れをするときは、必ず運転を停止しエアコンの電源プラグを抜く(または、ブレーカーを切る)
内部でファンが高速回転していますのでけがや故障の原因になります。
- 本体に水をかけない
感電の原因になります。
- お手入れ時には手袋を着用する
手袋を着用しないと、内部の部品に触れてけがをする原因になります。
- 不安定な台に乗ってお手入れしない
転倒などにより、けがの原因になります。

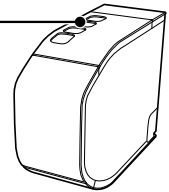
ご注意

- ベンジン・シンナー・みがき粉などは、塗装面やプラスチック部品を傷めるため使用しない
- 40℃以上のお湯を使用しない
フィルターが縮んだり、プラスチック部品が変形することがあります。
- 外観部品は、柔らかい布でふく
かたい布でふくと傷つくことがあります。
- 化学ぞうきんを使用の際は、その注意書きに従う

お手入れできる部品

フィルター【⇒P.10、11】

使用環境により、ホコリ・チリの量は変わります
定期的に汚れ具合を確認して、汚れが気になるときはお手入れをしてください



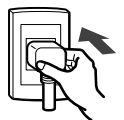
お手入れするときは

- 1 運転を停止して、エアコンの電源プラグを抜く(または、ブレーカーを切る)
- 2 フロントパネルを取り外す【⇒P.10】
- 3 フィルターを取り外す【⇒P.10】



お手入れが終わったら

- 1 フィルターを取り付ける【⇒P.10】
- 2 フロントパネルを取り付ける【⇒P.10】
- 3 エアコンの電源プラグを差し込む(または、ブレーカーを入れる)



お手入れ(つづき)

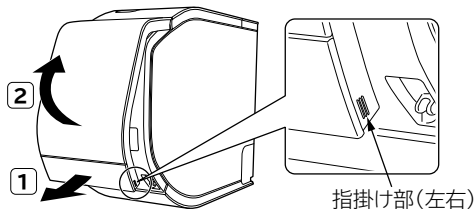
フロントパネル

必ず両手で開閉、取り外し・取り付けをしてください

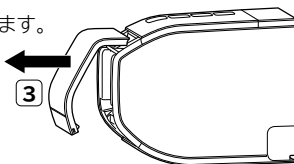
取り外しかた

運転を停止し、エアコンの電源プラグを抜き(または、ブレーカーを切り)フロントパネルを開く

- 1 左右の指掛け部をかけて、片方ずつ矢印方向に引きます。
- 2 矢印方向に開ききるまで開きます。

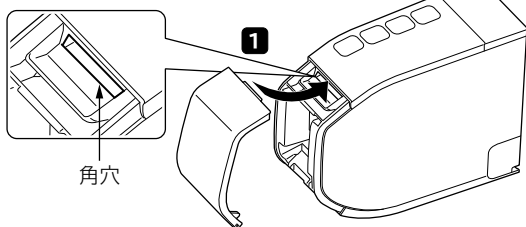


- 3 矢印方向に引いて取り外します。

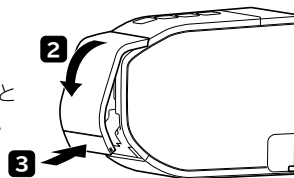


取り付けかた

- 1 フロントパネルの上部の爪をフィルター先端の角穴に引っ掛けます。



- 2 矢印方向に下ろします。
- 3 矢印部を押して、「カチッ」と音がするまで押し付けます。



⚠ 注意

- フロントパネルを開けたままにしない
- 開けたとき無理に上側に力を入れない
- フロントパネルが、がたついていないか確認する
- フロントパネルを正しく閉じる
フロントパネルが本体から外れて落下するおそれがありけがや破損の原因になります。
- 運転中にフロントパネルを開けない
運転を停止し、エアコンの電源プラグを抜いてから開けてください。
- フロントパネルは両手で開閉、取り外し・取り付けをする
フロントパネルが落下し、けがをする原因になります。

お手入れをするためにはフロントパネルを取り外す必要があります

フィルター

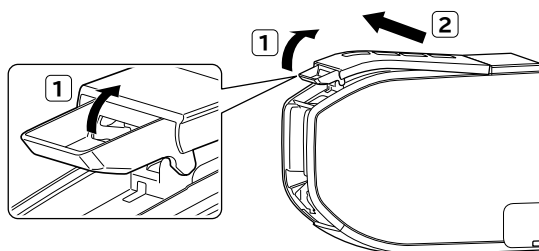
定期的に汚れ具合を確認して、しつこい油汚れなどが気になる場合は、取り外して水洗いしてください

- 目安として6ヶ月に1回はフィルターのお手入れをしてください。
- 汚れが気になる場合はこまめにお手入れしてください。

取り外しかた

フィルターの取り外しは、フロントパネル取り外し後に行ってください

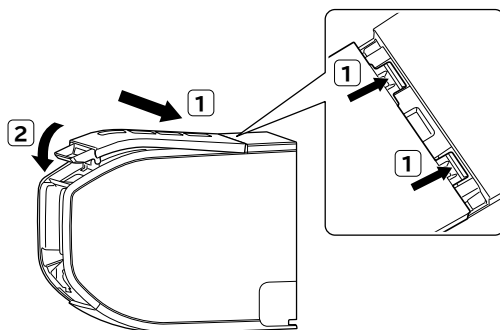
- 1 フィルター先端を持って、矢印方向に持ち上げます。
- 2 矢印方向に引いて取り外します。



取り付けかた

フィルターの取り付けは、フロントパネル取り付け前に行ってください

- 1 化粧カバー奥の角穴2箇所にフィルターの爪を挿入します。
- 2 矢印方向へフィルターを下ろします。



ご注意

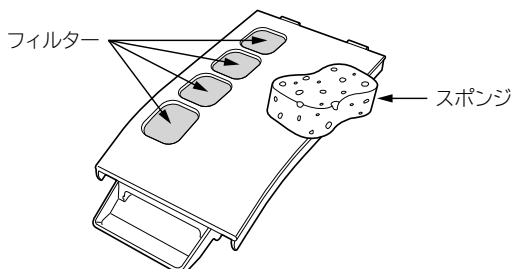
- フィルターを外したまま運転するとホコリが換気ユニットの内部に入り、故障の原因になります。

フィルター(つづき)

お手入れ

水洗いする

汚れがひどいときは、中性洗剤で洗い、よくすすいでから室内で陰干しで十分乾かします。



ご注意

- フィルターを強く押ししたり、たわしやブラシは使わない
お手入れには、スポンジなどを使い、強い力を加えないでください。
表面のコーティングが痛んだり、破れることがあります。
たわませ過ぎると破損することがあります。
- フィルターを正しく取り付ける
- フィルターを外したまま運転しない
換気ユニット内部にホコリが入り、故障の原因になります。
- フィルターを直射日光に当てない
直射日光に当てると、劣化して破れることがあります。

長期間ご使用にならないときは

フィルターのお手入れをしてください【⇒P.10、11】

定期点検

半年～1年に一度、定期的につぎの点検をしてください

ご不明な点がありましたら、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください

警告

- エアコンの電源プラグは、ホコリが付着していないか確認し、がたつきやホコリがたまらないように、刃の根元まで確実に差し込む
ホコリがたまった状態での使用や、接続が不完全のときは、感電や火災の原因になります。
コンセントに、がたつきがあるときは、お買い上げの販売店または、電気工事専門業者にご相談ください。
- アース(接地)が正しく接続されているか確認する
アース線が外れたり、途中で切れたりすると、誤動作や感電などの原因になります。



お困りのときは

※修理を依頼される前に、つぎの点をもう一度ご確認ください
※アフターサービスについては【⇒P.13】

ランプ表示

連動 運転 タイマ

タイマランプ点滅

換気ユニットに異常が発生しています
同時に室内機のクリーンランプが4秒点灯/3秒消灯を繰り返す場合があります

→ランプの点滅回数をご確認いただき、お買い上げの販売店にご連絡ください。

音

つぎのような音は故障ではありません

運転を開始・停止したとき、換気量を変えたとき

ブーンと音がする

ファンの回転数が変わる音です。

手動・連動換気運転中

室外へ引き回した排気ホースからの音が大きい

室内の空気を排気している音です。気になる場合は換気量を弱に設定してご使用ください。

連動運転中

運転音の大きさが変わる

連動運転中で換気量「自動」のときは人の活動量やお部屋の温度などに応じて換気量を自動でコントロールします。
気になるときは換気量を「自動」以外の設定にするか、手動換気運転に変更してください。

その他

室内機からポコポコと音がする

換気ユニットの運転によって、室内機排水ホースの中の空気が引っ張られ、室内機排水ホース内の水が空気と一緒に吸い上げられるときに出る音です。

→お部屋の吸気口を開けると解消される場合があります。
同梱のドレイン用逆止弁が室内機排水ホースに取り付けられているか確認してください。
ドレイン用逆止弁は、夏季に冷房運転する際に、点検・清掃が必要です。

運転

勝手に停止する

手動換気運転ではありませんか【⇒P.8】

2週間以上連続運転すると製品保護のため自動的に運転を停止します。
連動換気運転中は自動停止しません。

連動運転中ではありませんか【⇒P.8】

エアコンを停止すると換気ユニットも停止します。

お困りのときは(つづき)

運転(つづき)

勝手に停止する(つづき)

切タイマーによる停止ではありませんか【⇒P.7】
切タイマー設定時間になると運転を停止します。
⇒お好みの運転ボタンを押して運転を再開してください。

遠隔操作で操作されていませんか
室内機の遠隔ランプ点灯中は、遠隔操作も想定できます。
⇒操作していると思われる方に、ご確認をお願いします。

運転しない

お部屋の温度が高いまたは外気温が低くありませんか【⇒P.8】
室温43℃以上または外気温-10℃以下の場合、製品保護のため運転しないことがあります。

停電ではありませんか

ヒューズ・ブレーカーが切れていませんか

エアコンの電源プラグはコンセントに確実に差し込まれていますか

付属のリモコン以外で操作していませんか

リモコン

液晶表示が消えている

停止状態で約3分間操作しないと液晶が消灯します
⇒ボタンを押すと表示します。
運転ボタンを押した場合は、運転も開始します。

受信しない

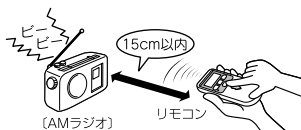
送信部を室内機の受信部に向けて操作していますか【⇒P.4】
換気ユニットには受信部がありません。

乾電池の⊕が逆になっていませんか【⇒P.5】

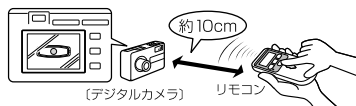
送信しているか点検してください
⇒1年に一度、点検をおすすめします。

点検方法

- AMラジオでの点検
リモコン操作時に、ラジオに雑音(ピーピー音)が入れば正常です。



- スマートフォン・カメラ付き携帯電話・デジタルカメラでの点検
カメラ機能にして、リモコンの送信部を映します。
リモコン操作時に、送信部が発光すれば正常です。



リモコン(つづき)

壊れた・紛失した

お買い求めいただけます
⇒お買い上げの販売店にご相談ください。

ニオイ

ニオイを発生させる物質は使用していません

その他

換気ユニット周辺の天井や壁が汚れる

空気中のチリやホコリが、エアコンや換気ユニットによる空気の循環・静電気で、天井や壁に付着するためです
壁紙の種類によっては汚れが付着しやすいものがあります。
⇒エアコンや換気ユニットの周辺をこまめに清掃してください。

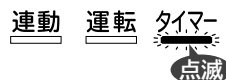
こんなときは すぐ販売店へ

「お困りのときは」【⇒P.11、12】を確認していただき
それでも異常や、つぎのような現象が出たときは、エアコンの電源プラグを抜き(またはブレーカーを切り)、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください

※アフターサービスについては【⇒P.13】をご覧ください

こんなとき

- タイマーランプが点滅している



- ブレーカーやヒューズがたびたび切れる
- スイッチの動作が不確実
- 換気ユニット内部に異物や水を入れてしまった
- コードの過熱や被覆に破れがある

保証とアフターサービス 必ずお読みください

保証書(裏表紙)

- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みのと、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げの日から1年間です。
なお、保証期間中でも有料になることがありますので保証書をよくお読みください。

再据付工事のお申し込みは

- 換気ユニットの据付工事は専門の技術が必要です。お客様ご自身での作業は絶対にしないでください。販売店に再据付工事(転居または別の部屋への接続)を依頼される場合はお買い上げの販売店にご相談ください。据付工事の繁忙期に当たる夏期は工事が遅れぎみになりますので、できるだけ避けていただきますようお願いいたします。

補修用性能部品の保有期間

- 換気ユニットの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後10年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

転居されるときは

- ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

ご不明な点や修理に関するご相談は

- 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または「お客様ご相談窓口」【⇒P.14】にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは(出張修理)

- 11、12ページに従って調べていただき、なお異常があるときは、運転を停止して、必ず電源プラグを抜いて(またはブレーカーを切って)から、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- ご連絡していただきたい内容
アフターサービスをお申し付けいただくときは、下記のことをお知らせください。

品名	換気ユニット
型式	SP-PVN1 SP-PVN2  リモコン型式 (電池ケースふたと電池を外してください) RAR-BA1 型式表示
お買い上げ日	年 月 日
故障状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も併せてお知らせください。
お名前	
電話番号	() -
訪問希望日	

※型式は保証書にも記載されています。
修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

- 保証期間中は
修理に際しましては保証書(裏表紙)をご提示ください。保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。
- 保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。
- 修理料金のしくみ

修理料金 = 技術料 + 部品代 + 出張料
などで構成されています

技術料	診断・部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。 技術者の人件費・技術教育費・測定機器など設備費 一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。 別途、駐車料金をいただく場合があります。

お客様ご相談窓口

この製品の使いかた・お手入れ・修理などは、お買い上げの販売店へご相談ください

または「日立家電品についてのご相談窓口」(下記)にご相談ください。

ご相談の前に本取扱説明書の「お困りのときは」をご確認ください。
また日立家電品サポートページで「よくあるご質問」や「使いかた動画」など
各種情報をご覧いただけます。 「日立家電品サポートページ」はこちら



※下方の内容は予告なく変更させていただく場合がございます。
最新情報は、日立家電品サポートページをご確認ください。

日立家電 サポート 検索

製品情報や使いかたに関するご相談

機能・操作・設定などのご相談ができます。
電話のほかLINE、チャット、メールなど様々なお問い合わせ
方法を準備しております。
詳しくは日立家電品サポートページをご覧ください。

TEL 0120-3121-11
携帯電話 050-3155-1111 (有料)
FAX 050-3135-2134 (有料)

■受付時間 9:00~17:30(月~土)
9:00~17:00(日、祝日)

※年末年始は休ませていただきます。

修理に関するご相談

修理のご依頼やご相談ができます。

24時間、修理のご依頼ができる
「Web修理受付」はこちら



日立家電 修理Web 検索

TEL 0120-3121-68
携帯電話 0570-0031-68 (有料)
FAX 0570-2006-57 (有料)

■受付時間 9:00~18:00(月~土)
9:00~17:00(日、祝日)

部品のご購入について

部品のご購入は、商品お買い上げの販売店、お近くの日立の家電品取扱店(お取り寄せ)
または「パーツショップ」へご依頼ください。

<https://store.kadenfan.hitachi.co.jp/store/pages/parts.aspx>



日立家電 部品 検索

- 通話内容の確認と対応品質向上のため、録音させていただきます。
- 予期せぬ障害などでお電話が切れてしまった際、折り返し電話を差し上げられるよう、発信者番号の通知をお願いします。「非通知」設定されているお客様は、はじめに「186」をダイヤルしておかけください。
- 営業時間外やお電話が繋がりにくい場合は、時間を変えてお掛け直しをお願いします。
- 修理のご依頼の前に、当社の修理対応方針につきまして「修理ご利用規約」をご覧ください。



【ご相談窓口におけるお客様の個人情報取り扱いについて】

- 個人情報は当社の個人情報保護方針に則り適切に管理いたします。
- 当社の個人情報保護方針につきましては、<https://www.hitachi-gls.co.jp/utility/privacy> をご覧ください。
※URLは変更する場合があります。日立の家電品ホームページにてご確認ください。
- 製品のサービス提供、各種お問い合わせへの対応にご利用させていただきます。また、アンケートをもとにした製品やサービスを向上させるための分析に利用させていただく場合があります。

日立修理ご利用規約 検索

長期使用製品 安全表示制度に 基づく本体表示

経年劣化により、危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、換気ユニットの銘板に電気用品安全法で義務付けられた以下の表示をしています。

【製造年】は換気ユニットの銘板の中に西暦4桁で表示しています



※【設計上の標準使用期間】 10年

設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります

※設計上の標準使用期間とは

- 運転時間や温湿度など、下記の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
- 設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、一般的な故障を保証するものではありません。
- 設置状況や環境、使用頻度が下記の条件と異なる場合、または本来の使用目的以外でご使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

標準使用条件

エアコンの取り扱い説明書を参照してください。

仕様

この換気ユニットは日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません、またアフターサービスもできません

型式	SP-PVN1	SP-PVN2
電源 (V)	単相100	単相200
定格周波数 (Hz)	50/60	50/60
製品質量 (kg)	3.9	3.9
消費電力 (W) パワフル時 (換気ユニット単体)	約42	約42
風量 (m ³ /h) パワフル時	47 ※	47 ※

※JISB8330準拠 運転モード「パワフル」 測定条件：付属Φ25ホース使用、ホース長さ0.5m、曲げ回数2回、大気解放条件(室内・屋外の気圧差がない環境)、付属の雨除けフード、虫除けカバー使用時。
設置状況、使用環境によって換気量は低下します。

長年ご使用のエアコンや換気ユニットの点検を！ ●補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後10年です。

愛情点検



このような症状は
ありませんか？

- 電源コードやプラグが異常に熱い。
 - 電源プラグが変色している。
 - 焦げ臭いニオイがする。
 - ブレーカーが頻繁に落ちる。
 - 架台や吊り下げなどの取付部品が腐食していたり、取付がゆるんでいる。
 - 室内機から水漏れがする。
-
- 運転音が異常に高くなる。
 - その他の異常や故障がある。



使用中止

このような症状のときは、故障や事故防止のため、スイッチを切りコンセントから電源プラグを抜いて(またはブレーカーを“OFF”)必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

換気ユニット保証書 出張修理

お買い上げいただき誠にありがとうございます。

下記保証期間内に取扱説明書等の注意書きに従って正常な使用状態で使用していて故障した場合には、本書記載内容に基づきお買い上げの販売店が無料修理いたします。

お買い上げの販売店に出張修理をご依頼いただき、修理に際して本書をご提示ください。

型 式	※お買い上げ日			保 証 期 間	
SP-PVN1 / SP-PVN2	年	月	日	本体：1年	
※お客様			※販売店		
ご住所 〒			住所 〒		
ご芳名		電話	店名		電話
様					

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

記入のない場合、レシートまたはご購入を証明するものが代用となりますので、本保証書とともに大切に保管してください。

SP-PVN1
SP-PVN2

日立ジョンソンコントロールズ空調株式会社

〒105-0022 東京都港区海岸一丁目16番1号 ニューピア竹芝サウスタワー

SP-PVN1
SP-PVN2 [Ⓐ]